

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ハップ大阪物流センター	階数	地上6F
建設地	寝屋川市池田北町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,665 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2019年12月12日
敷地面積	6,155 m ²	作成者	稲垣達也
建築面積	3,299 m ²	確認日	2019年12月12日
延床面積	11,999 m ²	確認者	重山弘治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなみや景観・周辺環境に配慮した建物配置、外観デザイン ・近隣に配慮した外壁色の選定 ・快適な作業環境の実現 		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務作業エリアは、快適な執務環境とするため、適切な設備容量及び自然採光を確保 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な階高を確保し、設備配管やダクトの更新性に配慮 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接道部は可能な限り緑化に努め、周辺環境に配慮 ・設備機器は、主に屋上(一部トラックヤード底上部)に配置し、目隠し壁にて囲いを設け、周辺から視認しにくいよう配慮
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明を採用 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水型器具の採用 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場及び駐輪場、ゆとりのある車路スペースを確保し、周辺の交通付加抑制に努めた

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0122

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社ハップ大阪物流センター					
		建設地	寝屋川市池田北町					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B+		
①	CO2削減		★★★★★			4		
②	みどり・ヒート アイランド対策		★★★★★			2		
③	建物の断熱性		★★★★★			5		
④	エネルギー削減		★★★★★			4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								